

①学校名:	三重大学	②所在地:	三重県津市栗真町屋町1577		
③課程名:	工学研究科 特別の課程 「さきもり応用コース」	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2010.4.1
⑥責任者:	みえ防災塾長 畑中重光	⑦定員:	10名	⑧期間:	1年間
⑨申請する課程の目的・概要:	三重県における、地方公共団体・企業・地域において防災・減災活動を担う人材の養成と養成者の活躍の推進を目指したプログラムであり、三重大と三重県が共同で設立した「三重県・三重大みえ防災・減災センター」内に設置された「みえ防災塾」がその企画を担っている。本プログラムでは、防災・減災活動に関して、自然科学分野や人文社会科学分野の広範な専門知識と技術を学修し、実践的な内容に即した講義や演習、研究を実施することにより、先進的・実践的な防災・減災のための計画立案とそのマネジメントを行う能力を養うことを目指す。地方公共団体、企業、自主防災組織などの防災業務担当者として活躍するために必要な能力を修得する。なお本プログラムは、2015年度にジャパン・レジリンス・アワード(強靱化大賞)金賞(教育部門)(主催:一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会)を受賞している。				
⑩4テーマへの該当の有無	地方創生(地域活性化)	⑪履修資格:	以下のいずれかの条件に該当する者 ・学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者 ・出願資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年3月31日までに22歳に達する者(平成27年度の募集時) ・「美し国おこし・三重さきもり塾」入門コースを修了した者 ・「みえ防災塾」みえ防災コーディネーターコース及びみえ防災聴講コースを修了した者、あるいは修了見込みの者		
⑫対象とする職業の種類:	地方公共団体あるいは公的機関の防災業務担当者、企業の防災業務担当者、地域の自主防災組織構成メンバー、防災・減災に関わる市民団体・NPO法人などの構成メンバー				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・防災・減災活動の実践に関する基礎的専門知識(ハザードのメカニズム・ハードウェア対策・災害対応行動・防災関連制度等) ・防災・減災のための各種計画(地震対策・風水害対策等)と実践手法(タウンウォッチング・災害図上訓練等)の立案と評価に関する技術と技能		(得られる能力) ・防災・減災のための計画立案の能力 ・立案した計画のマネジメント能力 ・防災・減災のための調査研究を遂行し、成果報告書を編集してプレゼンテーションする能力		
⑭教育課程:	教育課程は、①「防災実践基礎」に関する特論と演習、②「防災実践応用」に関する特論と演習、③受講生が自らテーマ設定をして取り組む「特別研究」の組み合わせを基本とし、④これに夏季休業中に開催する「集中セミナー」が加わる構成となっている。まず「防災実践基礎特論」と「防災実践基礎演習」では、防災活動の実践の基礎(ハザードのメカニズム・ハードウェア対策、災害対応行動・防災教育・リスクマネジメント・防災関連制度・災害復興等)に関する近年の研究成果や技術開発状況の知識を修得するとともに、演習時のグループディスカッションを通じて取り上げたテーマに関する理解を深める。つぎに「防災実践応用特論」と「防災実践応用演習」では、防災・減災のための各種計画(地震対策・風水害対策・企業の対応行動・防災まちづくり等)の策定や現場で必要な実践手法(タウンウォッチング・災害図上訓練・HUG等)に関する専門知識や技術について修得するとともに、演習時のグループワークを通じて計画立案や実践手法に関する理解を深める。そして「さきもり特別研究」では、防災計画や実践に関する研究テーマを受講生自らが設定し、指導教員の指導のもとで、調査研究の方法、論理的思考、研究成果報告書の編集とプレゼンテーションに関する能力や技術を修得する。「集中セミナー」では、防災・減災活動の実践に必要な取り組み態勢(コミュニケーション・ファシリテーション等)に関する専門知識と技術を修得する。これらの授業は小人数で実施され、全体的にグループディスカッションやグループワークを重視して、防災・減災のための計画立案とそのマネジメントを行う能力を修得させる。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	指定の5科目(①防災実践基礎特論、②防災実践基礎演習、③防災実践応用特論、④防災実践応用演習、⑤さきもり特別研究(研究成果報告書を提出を含む))を履修するとともに集中セミナーを受講し、修了判定を受けて合格すること。				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書、三重のさきもり				
⑰総授業時数:	216 時間	⑱要件該当授業時数:	180	該当要件 企業等 双方向 実務家	⑲要件該当授業時数 /総授業時数: 83%
⑳成績評価の方法:	各科目ごとに講義や演習の70%以上の出席者を評価対象とし、毎回のレポート(100点)の結果にもとづき、60点以上の者を合格とする。さきもり特別研究は、研究に対する取り組み姿勢、制作過程、研究成果報告会における発表と討論・研究成果報告書を100点満点で評価し、60点以上の者を合格とする。				
㉑自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。「みえ防災塾運営委員会」において、本プログラムの成果の検証や評価を行う。				
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者による防災・減災活動を推進するための組織として「さきもり倶楽部」が設置されており、さきもり倶楽部の会員によって三重県内各地の防災・減災活動(行政や自主防災組織による防災訓練、防災研修会における指導助言や運営協力など)が実施されている。防災・減災活動の実施状況については、「みえ防災塾運営委員会」において報告及び評価を行い、その効果を検証する。				
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 各研究科・学部の教員と外部有識者(地方公共団体・企業・自主防災会)から構成する「みえ防災塾運営委員会」において、本課程の内容について審議することにより、教育課程の編成に企業・地方公共団体の意見を取り入れる。 (自己点検・評価) 本課程の進行管理を担うための「みえ防災塾運営委員会」において、授業アンケート結果の評価、履修要綱の評価、プログラムの見直しなどについて審議することにより、自己点検・評価を行い、企業等の意見を反映させる。				
㉔社会人が受講しやすい工夫:	全ての講義と演習は、土曜日開講を基本としている。				
㉕ホームページ:	(URL) http://www.midimic.jp/disaster.html				

事務担当者名:	伊藤 仁江	所属部署:	三重大学学務部教務チーム
連絡先:	(電話番号)059-231-9056 (E-mail)kyomu-k@ab.mie-u.ac.jp		

*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。